

私たちにできること。

臓器を提供する。移植を受ける。

私たちはどちらの立場にもなる可能性があるから、

一人ひとりが家族と話し、

意思を表示することが大切です。

臓器提供の意思は、NOでもいい。

だから、表示してください。

あなたの“今”を。

移植待機者
14,000人のうち、
1年間で移植を受けられる人

わずか
2.0%



移植を受けられずに
亡くなる方も
多いんだよ

臓器提供で
1人が救うことができる
最大の人数

11人

臓器提供の流れ

1 病院に入院

2 医師からの選択肢提示
or
家族からの申し出

3 臓器移植
コーディネーター
からの説明

4 家族の意思決定

5 脳死判定
(脳死後の提供時のみ)

6 移植を受ける
患者の選択

7 臓器の摘出手術

8 身体のお返し

●意思は誰でも表示できるの？

意思を表示することに年齢の上限はなく、薬を服用されている方など、どなたでも表示できます。

●意思はどのように確認されるの？

病院で最善の救命治療を受けた結果、回復の見込みがない場合、医師が家族へ病状の説明と、臓器を提供する・しないの意思確認をすることがあります。また家族が医師へ意思表示欄を提示することも、本人の意思を伝えることが可能です。

●本人の意思は必要なの？

意思を表示することは、家族が意思決定をする際の迷いや負担を減らし、助けとなります。また提供しないという意思表示の場合、家族の決定にかかわらず提供されることはありません。

●提供後、身体はどうなるの？

入院している病院で摘出手術(3~5時間)をした後は家族の元へ戻ります。傷口はきれいに縫い合わせて、外から見てもわからないようにします。その後は、通夜や葬儀など大切な方々との時間を過ごしていただけます。

●提供は誰でもできるの？

がんや全身性の感染症で亡くなられた方は提供できないなど、実際の臓器提供時に医学的検査をして判断します。これまで0~70歳代の方からの臓器提供が行われています。

脳死ってなに？

脳死とは、脳の全ての働きがなくなった状態です。どんな治療をしても回復することはなく、人工呼吸器などの助けがなければ心臓は停止します。回復する可能性がある植物状態とは全く別の状態です。



大脳 知覚、記憶、感情など心の働き
小脳 運動や姿勢の調節
脳幹 呼吸・循環機能の調節など、生きていくために必要な働き

ご存知ですか？ 親族優先

親族への優先提供の意思も表示することができます。提供は、以下の3要件を全て満たす場合のみ可能です。

1

本人(15歳以上)が臓器を提供する意思表示に併せて、親族への優先提供の意思を書面により表示している。

2

臓器提供の際、親族(配偶者※1、子ども※2、父母※2)が移植希望登録をしている。

3

医学的な条件(適合条件)を満たしている。

※1 婚姻届を出している方です。事実婚の方は含まれません。
※2 実の親子のほか、特別養子縁組による養子及び養父母を含みます。

その他の留意事項

- 医学的な条件などにより移植の対象となる親族がいない場合は、親族以外の方への移植が行われます。
- 優先提供する親族の方を指定(名前を記載)した場合は、その方を含めた親族全体への優先提供意思として取り扱います。
- 「〇〇さんだけにしか提供したくない」という提供先を限定する意思表示があった場合には、親族の方も含め、臓器提供が行われません。
- 親族提供を目的とした自殺を防ぐため、自殺した方からの親族への優先提供は行われません。

いつでも変更! YES↔NO!

意思はいつでも、何度でも変更できます。

変更する場合は、二重線で消して書き直してください。また意思は日本臓器移植ネットワークのホームページからも表示(登録)でき、内容を変更すると、その度に新しいカードが手元に届きます。